



市民インタビュー

過剰包装を減らすようにしています

横手町
山谷 美歌さん
30歳

1年前、市内に引っ越してきてから、家族でごみの分別に取り組むようになりました。他市に住んでいたときよりも可燃ごみの量は減りましたね。紙類はすぐにたまってしまうので、地域の有価物集団回収に出せばその時に、あとは古紙回収の日や紙リサイクル庫なども利用しています。

分別を始めて感じたのは、何重にも包装されている商品が多いこと。店頭回収してくれるお店では、買ったその場で回収をお願いして、家に持ち帰らないようにしています。

古紙回収に出せない紙(例)

- ・カップめんの紙製の容器
- ・レシート(感熱紙)
- ・圧着はがき
- ・宅配便などの複写伝票
- ・ピザの箱



古紙回収に出せる紙(例)

- ・新聞紙
- ・段ボール
- ・雑誌類
- ・紙バック
- ・トイレトペーパーの芯
- ・パンフレット
- ・細かくした紙



紙類は資源です

市は回収した古紙を売却しています。古紙回収で得たお金は図書館の本や道路の整備などに使われます。また、有価物集団回収を行う自治会などは市から奨励金の交付を受け、地域の活動資金にしています。

また、最近は個人が持ち込んだ古紙とポイントを交換してくれるスーパーもあります。

可燃ごみと一緒に紙類を出すことは、お金を燃やしてしまっているのと同じなのです。

分別してみよう



①お菓子

※答えは5ページで



②個包装されたおせんべい

ポイント1

紙はとことんリサイクル

リサイクルできる紙って、ダンボールや新聞紙だけだと思いませんか? 実は、雑古紙といわれる菓子などの紙箱やメモ用紙なども、リサイクルできる立派な資源です。

現在、こうした雑古紙をはじめとした紙類が、可燃ごみと一緒にたくさん出されています。紙類をとことんリサイクルすると、ごみを大幅に減らすことができます。「個人情報心配なので、細か

く破っちゃった」「サイズがバラバラ」。そんな場合でも大丈夫です。シュレッダーにかけた物もリサイクルできますし、紙袋に入れば散らからずに集められますよ。分別した紙類は、なるべく地域の有価物集団回収(廃品回収)に出してください。また、市が月に2回程度行っている古紙回収の日や、市有施設など市内30カ所に設置している紙リサイクル庫に搬出することもできます。



・専用のゴミ箱を作ろう
プラ、紙類、可燃それぞれのゴミ箱を作れば捨てやすくなります。紙類は紙袋に入れるのがコツ。



・マイバッグを使おう
買い物の度にレジ袋をもらっていませんか? マイバッグなら詰め替えも不要。買い物かごがスマートに。



・使わなくなった物はリユースショップに
着なくなった物、そのまま捨てちゃうなんてもったいない。リユースショップに持ち込めば誰かの役に立つかも。



・店頭回収を利用しよう
食品のトレーなどを店頭で回収している店舗もあります。購入後すぐにトレーだけ入れれば、家に持ち帰らずに済みます。

これならできる!
可燃ごみダイエット

~目標は1人1日100g

問い合わせは ごみ減量課 ☎ 898-6272

「でも、ごみを減らすのって、難しいですよ〜」
そんなことはないんです。ほんの少し工夫をするだけでごみは減らすことができます。まずは、ごみ全体のうち80%以上を占める可燃ごみのダイエットから始めてみましょう。可燃ごみのダイエットを始めると、お得なこともたくさんあるのに気付くはずですよ。
ここでは、すぐに始められる可燃ごみダイエットのこつを6つのポイントに分けて紹介します。
さあ、みんなで可燃ごみダイエット始めましょう。

ごみを減らしたり、分別したりするのって面倒くさい。そう思っている人、いませんか?
平成23年度、可燃ごみや不燃ごみなど、本市のごみの総量は13万4,000ト。市民1人1日当たりにするると1,080gでした。これは全国平均を上回る量です。そして、これを処理するためにかけた費用は約42億円でした。
もしも、1人1日100gのごみを減らしたら、どれくらい費用が節約できるでしょうか? 答えは約4億6,000万円。大切な税金を暮らしたに生かすためにも、皆さんの協力を必要としています。